

情報集会の報告

ロータリー情報委員長 辻孝範

先日の情報集会には皆さんお忙しいところご出席いただきありがとうございます。本日は例会の時間をいただき情報集会の報告をさせていただきたいと思っております。いろいろな貴重なご意見をいただきました。発言いただいた内容にはその方の「思い」があるとおもいますので今後のロータリー活動や運営にも役に立てて行けるように皆さんにもご協力いただきたいと思います。

情報集会A班 平成22年11月17日18時～21時(やまりゆう)

出席者 竹若 豪 平松善雄 上西 保 川北清満 山本善通 澤田 淳 大角道雄
会員増強について

会員より候補者の名前を提出会員増強委員会において再度名前整理して頂き内部で事前協議をおこない。職業分類等問題ないか検討を行う。会員入会へのお願いを会長・幹事・会員増強委員長の3名が出向く事でしっかりとした対応が出来る。昨年21年度お誘いの4名の方々は今までも何度も入会へのお誘いをしていますが断られていますので充分その点参考にしてほしい。企業のオーナーで無いと時間等の対応が出来ない。その他

理事会で会員の承認については無記名投票として検討して頂きたい。

国際奉仕の30万については台北府門と取り決めの文章等交わし書類として残し年度を重ねた事業としての担保をしておく。

湖南省の甲西駅前にロータリーとして何か地域奉仕団体として広報的な地域の為になるものの設置を検討要望

各委員会での委員としての何をしなければいけないか十分な掌握をお願いしたい。特に部門別委員会委員長より指導徹底して頂きたい。

ロータリークラブ事務所の皆様の活用をお願いします。



情報集会B班 平成22年11月18日18時～(秀)

出席者:青木正伸、青木善政、長谷平官、長谷川正勝、井島均、甲斐切稔、増井敏男、田村義教、塚本茂樹、辻孝範、大角道雄

- ・湖南RCでは会員数40名ぐらいで中身の濃い活動をして会員を集めたらどうか。
- ・規模に応じた付き合いをして、地域に根を張ったロータリーらしい活動をすべき。
- ・大津ロータリーのような100名もいて楽しくやっておられる会もあるように、身の丈に合った活動をして、入っていて良かったと思える会がよい。
- ・人数的には40名ぐらいが適当な会ではないか。退会防止も大事ではないか。
- ・ロータリーに入ってから勉強してもらいたい。
- ・高畑氏の息子さん(55歳)と出会った折に話したこともある。
- ・入りたいと思ってもらえる会にするのが大事ではないか。
- ・楽しい事があることを伝えられたらいいのでは。
- ・PPの方が多く、若い人が少ない逆ピラミッド的な人員構成に問題があるのでは。
- ・若い人たちにロータリーが理解されてないのでは。
- ・ロータリーに入ってから良さがわかるのでは。
- ・25周年に向かって大事な時期である。
- ・JCの方のRCに対してのアレルギーがあるのでは。
- ・会員増強の意義が理解されてないのではないか。
- ・RCが地域の方に理解または知られてないのではないか
- ・RCが湖南省に認知されてないのではないか
- ・湖南RCは50名強の時代もあったが、会の新陳代謝も必要ではないか
- ・職業奉仕がRCの活動であって仕事をしっかりする事で本当ではないか
- ・社会奉仕はボランティア活動を他の団体と同じではどうだろうか。
- ・RCのイメージを外部的に理解してもらうためには、テーマの継続性も必要では。
- ・自分の身の丈に合った活動ができればメリットとして会員増強に使えるのではないか。
- ・RCは入るまでは敷居が高いと思って。
- ・多種の性格の方と交流ができてよかった
- ・地域の中でトップの仕事をしている方と交流ができてよかった。
- ・個人個人の自己研鑽ができる場がRCではないか。
- ・社会福祉活動に各種の機会を得て活動すべきだ。

情報集会C班 平成22年11月19日 18時～21時(徳志満)

出席者 園田英次 長谷川正勝 西岡建己 富田喜義 徳島りつ子 石原久歳 西岡昌彦 大角道雄

- ・ロータリーをもっとアピールした名前が出る地域での活動をする事で会員加入推進に対し活動内容をわかってもらった上で目的意識を持って新会員として入って頂けるのではないかと。
- ・会員として有意義な会とおもっています。是非入って頂けるよう紹介していきたい。
- ・会員増強は毎年議題になっておりますが、候補者があると聞いて喜んでおります。近年企業を起こす方が少ない又各種団体に入られる方も少ないのではと思っております。会として退会防止を行う事で会員減少のくい止めになる。
- ・女性会員の増強と考えていますが適切な方が今のところ出来ていない。都市部ではクラブの女性経営者も入っておられる等今後いろいろな角度で働きかけが必要と思われま。
- ・湖南省市石部町の企業家として是非新会員候補者の検討必要
- ・若手会員の増強が会の存続に対し重要と思っております。
- ・会として40名体制が安定運営できる会員数と思われ、ニコニコに頼らず事業が行える為にも会員増強が必要です。本年推薦者を上げて頂き会員増強委員会で協議して頂き三役と会員増強・退会防止委員会とで加入に向けて推進します。
- ・他の地区や他ロータリーを学び、外の空気も感じ取り湖南ロータリーにいいところ繁栄してより活性化することも必要。
- ・各委員会での委員としての何をしなければいけないか十分な掌握をお願いしたい。特に部門別委員会委員長より指導徹底して頂きたい。
- ・ロータリークラブ事務所の皆様の活用をお願いします。

幹事報告

幹事 大角道雄

1. 12月9日の例会はクラブフォーラムです。各委員会前期事業報告と後期活動に向けてとして行われます。
2. 第2650地区RLIパートⅢ研修会 が京都リサーチ・パークにて12月12日 10:00～17:00より開催 クラブ研修リーダー辻委員長出席お願い致します。
3. 本日例会終了後 第6回理事役員会です。



会員3分スピーチ

甲斐切稔 会員

私が広島からこちらへ来て33年になりまして、途中下車のつもりがすっかり地元の人間になりました。この町については大変恵まれた地だと思います。私の住んでいた瀬戸内海の海があって、狭い平野、そして山があります。コマーシャルなどでよく見られるかと思いが山の斜面に家が建っています。そういったところでは滋賀県は広い平野で琵琶湖があって災害も少なく危機感がないように思います。物流関係に於きましても近畿、中部にと交通にも利便性があり恵まれて、新名神も出来て魅力ある土地になってきました。しかし町りに関しては湖南工業団地が出来た頃は良かったのですが、失敗ではないかと思われる点は野洲川に分断されているせいか文化ゾーンと工業地帯との振り分けが出来ていないのが原因ではないかと思っております。そういったことを念頭に置きながら地域の活性化をロータリーの活動の中ですすめて戴きたいと思っております。恵まれた土地ですので私たちがここに住んでよかったと思える、これからもっと住みよい地域になるように食欲になって他の地域からもここに住みたいと引き寄せられるような、終の棲家となるべく地域にさせていただきたいと思っております。湖南省のイベントとして湖南三山なども始まって数年経っているのですがPRもなかなか出来ていない、みやげ物屋がない、スタッフが少ない、トイレがないなど問題点もたくさんあります。このあたりもロータリーとして市域の活性化のために何か出来ることがあるのではないかとと思っております。突然の指名でのスピーチで取り留めのないお話となりましたが今私の思うことです。

